



2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2022年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	4,229	△9.7	144	△27.3	159	△23.9	118	△23.8
2021年8月期第3四半期	4,684	△0.4	198	9.1	210	3.9	155	0.5

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 112百万円 (△34.9%) 2021年8月期第3四半期 172百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	50.32	—
2021年8月期第3四半期	66.16	66.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	8,156	2,820	34.6
2021年8月期	8,535	2,797	32.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 2,819百万円 2021年8月期 2,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2022年8月期	—	0.00	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,789	8.5	343	24.3	344	16.3	236	22.2	100.39

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年8月期3 Q	2,353,500株	2021年8月期	2,353,500株
2022年8月期3 Q	1,170株	2021年8月期	1,170株
2022年8月期3 Q	2,352,330株	2021年8月期3 Q	2,349,213株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が根強く続く一方で経済活動の再開が進んでいます。また、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格や原油価格の高騰、加えて急激な円安に向けた為替変動が続いているなど、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような経営環境におきまして、当社グループでは環境関連機器の拡販を目的に休眠客の掘り起こしを推進するとともに、市況が堅調に推移している船舶、産業機械市場において関連機器や部品の製造受託営業に注力してきました。また、2021年9月には海水冷却加温ユニット及びチタン熱交換器を製造販売する株式会社マリンリバーを連結子会社化することにより水産養殖分野へ事業規模を広げ、収益基盤の拡大に取り組んでまいりました。

全体として、中国における主要都市でのロックダウンや半導体不足の影響により、当社グループが取扱う機材の供給が遅延していることにより、案件の納期が延びるなど受注を十分消化できない状態が続き、当社グループの経営成績に影響しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,229百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益144百万円(前年同期比27.3%減)、経常利益159百万円(前年同期比23.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円(前年同期比23.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

半導体不足の影響等により商品仕入が計画通り進まず、一部で納期が遅延したことにより受注を十分消化できない状態が続いたことで売上高が減少しました。加えて株式会社マリンリバーの株式取得に係る費用を販売費及び一般管理費に計上したことにより、利益が減少し当第3四半期連結累計期間の経営成績にも影響しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,292百万円(前年同期比13.6%減)、セグメント利益は68百万円(前年同期比41.6%減)となりました。

(動力・重機等事業)

船舶用エンジン市場及び工作機械関連市場での需要が安定的に推移し、受注残を堅調に積み上げてきました。しかしながら、プラント設備関連の大型案件の製造に使われる機材価格が上昇しており、この影響を受けて材料の調達を遅らせている動きも一部でみられました。これらの影響により、当社グループにおいて機材の納入時期や生産工程の進捗が遅れ、出荷時期が翌月以降に繰り越されるものが発生しました。上半期まで順調に推移していた売上高は上記の影響などから、当第3四半期連結累計期間において前年同期をやや下回る結果となり、経営成績に影響しました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,646百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント利益は141百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

(防災・安全事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、病院や介護施設に対するスプリンクラー設備の設置に係る補助金額が減少し需要動向が低調に推移しているなか、病院等施設への対面営業が制約を受けるケースが多くありました。これらの影響を受けたことで、経営成績にも影響しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は291百万円(前年同期比17.0%減)、セグメント利益17百万円(前年同期比40.6%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,156百万円(前連結会計年度末は8,535百万円)となり、378百万円減少しました。流動資産は3,648百万円(前連結会計年度末は4,266百万円)となり、617百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少415百万円、前連結会計年度末の受取手形及び売掛金に相当する、受取手形、売掛金及び契約資産の減少288百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は4,508百万円(前連結会計年度末は4,269百万円)となり、239百万円増加しました。これは主に、土地の増加65百万円、関係会社株式等の増加により投資その他の資産のその他が139百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,336百万円(前連結会計年度末は5,737百万円)となり、401百万円減少しました。流動負債は2,919百万円(前連結会計年度末は3,109百万円)となり、189百万円減少しました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少135百万円、未払法人税等の減少64百万円等によるものであります。

固定負債は2,417百万円（前連結会計年度末は2,628百万円）となり、211百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少212百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,820百万円（前連結会計年度末は2,797百万円）となり、22百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が6百万円減少した一方、利益剰余金が28百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月14日の「2021年8月期 決算短信」で公表いたしました2022年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,109,552	1,694,146
受取手形及び売掛金	1,460,164	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,171,490
電子記録債権	182,747	141,404
商品及び製品	44,823	49,478
仕掛品	279,693	277,236
原材料及び貯蔵品	34,707	53,529
その他	168,006	274,269
貸倒引当金	△13,670	△13,015
流動資産合計	4,266,026	3,648,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	795,607	841,165
土地	2,028,102	2,093,102
その他(純額)	417,686	436,067
有形固定資産合計	3,241,396	3,370,335
無形固定資産		
のれん	6,736	6,084
その他	5,716	5,305
無形固定資産合計	12,453	11,390
投資その他の資産		
投資有価証券	455,402	427,820
その他	569,537	708,557
貸倒引当金	△9,756	△9,756
投資その他の資産合計	1,015,183	1,126,621
固定資産合計	4,269,033	4,508,347
資産合計	8,535,059	8,156,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,836	214,367
短期借入金	1,570,000	1,520,000
1年内返済予定の長期借入金	842,346	897,241
未払法人税等	75,172	11,054
賞与引当金	26,949	66,233
その他	244,915	210,847
流動負債合計	3,109,219	2,919,744
固定負債		
長期借入金	2,345,329	2,132,560
役員退職慰労引当金	20,395	21,442
退職給付に係る負債	144,485	149,387
その他	118,530	113,725
固定負債合計	2,628,739	2,417,115
負債合計	5,737,959	5,336,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,062,420	1,062,420
資本剰余金	920,120	920,120
利益剰余金	814,679	843,656
自己株式	△231	△231
株主資本合計	2,796,988	2,825,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	△5,935
その他の包括利益累計額合計	111	△5,935
純資産合計	2,797,100	2,820,030
負債純資産合計	8,535,059	8,156,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	4,684,449	4,229,442
売上原価	3,740,679	3,279,132
売上総利益	943,769	950,309
販売費及び一般管理費	744,877	805,810
営業利益	198,891	144,499
営業外収益		
受取利息	95	413
受取配当金	656	528
投資有価証券売却益	299	6,699
保険解約返戻金	792	767
固定資産賃貸料	11,849	11,775
補助金収入	10,204	4,391
その他	23,045	18,324
営業外収益合計	46,941	42,900
営業外費用		
支払利息	21,133	19,229
投資有価証券売却損	—	725
投資有価証券評価損	5,588	614
株式交付費	779	—
その他	8,083	6,851
営業外費用合計	35,585	27,420
経常利益	210,248	159,979
特別利益		
固定資産売却益	2,077	119
負ののれん発生益	—	20,001
固定資産受贈益	24,888	—
特別利益合計	26,966	20,121
特別損失		
固定資産除却損	480	62
特別損失合計	480	62
税金等調整前四半期純利益	236,734	180,038
法人税等	81,308	61,671
四半期純利益	155,425	118,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,425	118,366

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	155,425	118,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,995	△6,047
その他の包括利益合計	16,995	△6,047
四半期包括利益	172,420	112,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,420	112,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,096	1,680,734	350,618	4,684,449	—	4,684,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,980	—	—	3,980	△3,980	—
計	2,657,076	1,680,734	350,618	4,688,429	△3,980	4,684,449
セグメント利益	118,007	151,558	29,064	298,630	△99,738	198,891

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△86
全社費用※	△99,651
合計	△99,738

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,292,224	1,646,139	291,079	4,229,442	—	4,229,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,132	—	—	10,132	△10,132	—
計	2,302,356	1,646,139	291,079	4,239,575	△10,132	4,229,442
セグメント利益	68,885	141,715	17,268	227,869	△83,369	144,499

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	△496
全社費用※	△82,873
合計	△83,369

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第3四半期連結累計期間より株式会社マリンリバーの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は20,001千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。